

2024年2月1日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2024年2月1日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/data/gaikyo.html>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、回復している。

最終需要の動向をみると、公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。輸出は、緩やかに増加している。設備投資は、高めの水準にある。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。

こうした中で、生産は、緩やかに回復している。雇用情勢をみると、緩やかに改善している。

【前回との比較】

項目	前回	今回	
景気判断	回復している。	回復している。	
需要項目	公共投資	横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
	輸出	高水準で推移している。	緩やかに増加している。
	設備投資	高めの水準にある。	高めの水準にある。
	個人消費	物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに増加している。	物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに増加している。
	住宅投資	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
生産	緩やかに回復している。	緩やかに回復している。	
雇用	緩やかに改善している。	緩やかに改善している。	

2. 需要項目別動向

公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

輸出は、緩やかに増加している。管内の12月の貿易収支は、黒字であった。

設備投資は、高めの水準にある。

12月短観をみると、2023年度の設備投資額は2022年度を上回っている。管内企業は高水準な企業収益を背景に、能力増強に向けた前向きな設備投資を行う先が目立つ。また、将来を見据えたデジタル・環境関連投資のほか、人手不足を背景とした省人化・効率化投資を行う先がみられている。

個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも、緩やかに増加している。

飲食や旅行・観光関連のサービス消費は増加しているほか、高額品の販売も緩やかに増加している。食料・日用品の販売は、物価上昇を受けて消費者の生活防衛的な動きが強まりつつも、底堅く推移している。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

3. 生産

生産は、緩やかに回復している。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	緩やかに回復している。
	電炉	フル稼働の生産が続き、高水準を維持している。
化学		国内・海外の需要低迷を受け、減少している。
セメント		横ばい圏内で推移している。
住設機器		高水準で推移している。
電気機械		一部に弱めの動きがありつつも、高水準で推移している。
電子部品		情報通信向けに弱さがみられるものの、自動車向けの堅調な需要を背景に、全体では増加している。
自動車		増加している。

4. 雇用

雇用情勢をみると、緩やかに改善している。

5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）の前年比は、2%台半ばとなっている。

6. 企業倒産

企業倒産をみると、総じて抑制された状況にあるものの、このところやや増加している。

7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、前年を上回って推移している。

以 上